

令和6年9月市議会 建設水道委員会資料

第80号議案

令和6年度長崎市一般会計補正予算(第3号)

目 次	ページ
《8款 土木費 2項 道路橋りょう費》	
3目 道路橋りょう新設改良費 (債務負担行為の補正)	 2～8
《11款 災害復旧費 2項 公共土木施設災害復旧費》	
1目 道路橋りょう河川等災害復旧費 (歳出・繰越明許費の補正)	 9～21

土 木 部
令和6年9月

債務負担行為補正		期 間	限度額 (設定額)
第4表 ページ	事 項		
9	道路新設改良事業 (虹が丘町西町1号線)	令和7年度から 令和8年度まで	480,000 千円

1 債務負担行為の目的

市道虹が丘町西町1号線橋梁上部工事は、令和6年度当初予算において令和2年度の詳細設計業務委託で算出していた金額の300,000千円(令和6年度当初予算:120,000千円、令和7年度債務負担行為:180,000千円)を計上していたが、令和5年度の積算支援業務委託(相手方:(公財)長崎県建設技術研究センター(NERC))の成果をもとに再度積算したところ、工事費が大幅に増加したため、不足する工事費を増額し、債務負担行為の限度額及び設定期間の補正を行うもの。

2 債務負担行為の補正理由及び内訳

〈工事費の増加項目〉

①確認不足によるもの

- ・工事用仮橋のリース費及び工場塗装費の計上漏れ
- ・建設資材価格、労務単価及び諸経費率の上昇

②直接工事費(①)の増額に伴う諸経費の増額

③工事用仮橋の撤去工事の追加(施工性と経費削減を考慮)

2 債務負担行為の補正理由及び内訳

項 目		当初予算	補正後	増加額
①	工事用仮橋のリース費	—	40,000千円	40,000千円
	工場塗装費	—	26,000千円	26,000千円
	建設資材価格や労務単価の高騰	168,000千円	239,000千円	71,000千円
	工場製作における工場管理費の諸経費率の時点修正 (当初予算：28.8%→9月補正：33.5%)	18,000千円	30,000千円	12,000千円
②	直接工事費増額に伴う諸経費の増額	86,000千円	160,000千円	74,000千円
③	工事用仮橋の撤去工事	—	50,000千円	50,000千円
消費税		28,000千円	55,000千円	27,000千円
合計		300,000千円	600,000千円	300,000千円

3 債務負担行為の補正に至る経緯

年度	内容	不足していた項目	工事用仮橋費用
令和3年3月	橋梁設計業務委託の成果品による概算工事費300,000千円。 【原因】 ・成果品の概算工事費について十分な精査ができていなかった。 ・経験がない工事であり、NERCへ積算支援業務の発注を検討するべきであった。	・工場塗装費	・委託時点では工事用仮橋設置期間について未確定であることから工事用仮橋リース費等は後ほど計上する予定であった。
令和5年7月	中期財政計画において、単価や経費の見直しを行わず、令和6年度、令和7年度の予算に橋梁上部工事費用として合計300,000千円を計上。 令和6年度: 120,000千円 令和7年度: 180,000千円 【原因】 ・当初の積算時期である令和2年度から3年が経過していたが、単価、経費の確認や見直しを行っていなかった。 ・工種ごとの詳細な工程表を作成し、仮橋のリース費用など予算計上に漏れがないか確認できていなかった。	・工場塗装費 ・労務単価等増額費 ・諸経費等増額費	・工事用仮橋リース費未計上
令和6年2月	2月議会において当該工事の債務負担行為を令和7年度180,000千円で設定。 令和6年度: 120,000千円(令和6年度当初予算) 令和7年度: 180,000千円(債務負担行為) 合 計: 300,000千円		
令和6年3月	NERCの積算支援業務で工事費の不足が判明(納期である令和6年3月に判明)。 履行期間: 令和5年10月～令和6年3月		・工事用仮橋撤去費追加(※)

※施工性と経費削減を考慮し、別工事で予定していた工事用仮橋撤去工事を本工事に追加

6 債務負担行為にかかる年度内訳等

(1) 期 間: 令和7年度～令和8年度

(2) 限 度 額 : 令和7年度: 240,000千円、令和8年度: 240,000千円 合計: 480,000千円

(3) 年度内訳:

	令和6年度	令和7年度 (限度額)	令和8年度 (限度額)	合計
R6当初	千円 120,000	千円 180,000	千円 —	千円 300,000
補正後	千円 120,000	千円 240,000	千円 240,000	千円 600,000
補正額	千円 —	千円 60,000	千円 240,000	千円 300,000

(4) 財源内訳

年度	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
R7	千円 240,000	千円 120,000	千円 —	千円 108,000	千円 —	千円 12,000
R8	千円 240,000	千円 120,000	千円 —	千円 108,000	千円 —	千円 12,000
合計	千円 480,000	千円 240,000	千円 —	千円 216,000	千円 —	千円 24,000

※1 国庫補助率 対象事業費の1/2(地方創生道整備推進交付金)

※2 起債充当率 地方負担分の90%(公共事業等債)(交付税措置率22.2%)

7 位置図

市道虹が丘町西町 1 号線



(当初) 橋梁上部工 (R6~R7)

R6 : 120,000 千円 (当初予算)
R7 : 180,000 千円 (債務負担行為)

合計 : 300,000 千円

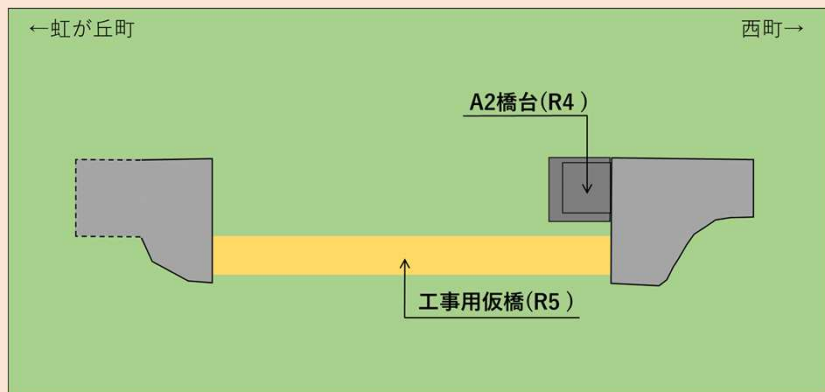
(補正後) 橋梁上部工 (R6~R8)

R6 : 120,000 千円 (当初予算)
R7 : 240,000 千円 (債務負担行為)
R8 : 240,000 千円 (債務負担行為)
合計 : 600,000 千円

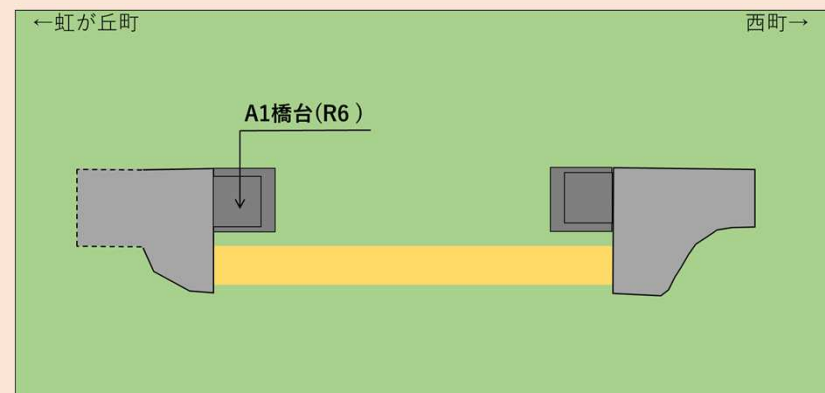


8 施工フロー

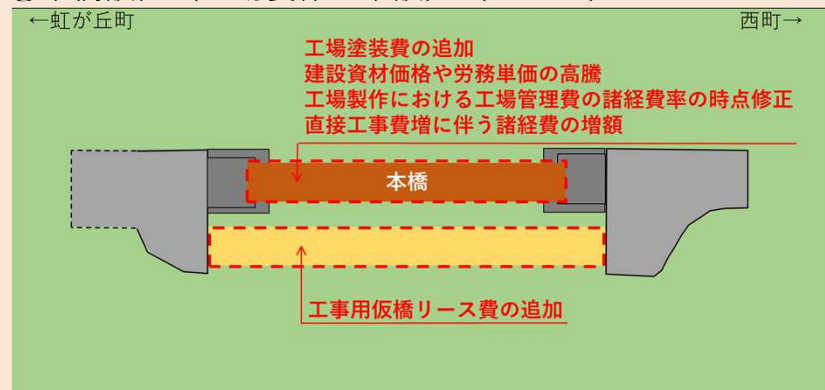
①現況（R5末）



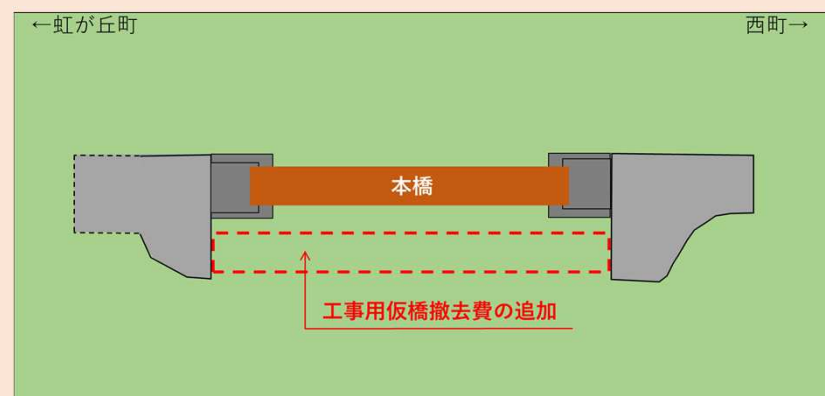
②A1橋台設置（R6）



③本橋設置（工場製作・架設）（R6～R8）



④工事用仮橋撤去（R8）



 今回補正

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
32～33	11 災害 復旧費	2 公共土木 施設災害 復旧費	1 道路橋りょう 河川等 災害復旧費	1-1	【補助】道路災害復旧費 現年度災害分	千円 49,000

1 事業概要

(1)事業目的

異常な天然現象(最大24時間雨量80mm以上の降雨)により被災した道路施設を、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき復旧するもの。

(2)補正予算理由

令和6年6月及び7月の梅雨前線豪雨により被災した道路の災害復旧工事を実施するため、災害復旧費を増額補正するもの。

2 事業内容

路線名	場所	被災日	最大24時間 雨量(mm)	被災状況	延長 (m)	補助対象 事業費 (千円)	補助対象外 事業費 (千円)	総事業費 (千円)
① 松崎町2号線	松崎町	6月20日	137.0	路肩崩壊	8.0	4,000	0	4,000
② 西山12号線	西山2丁目	7月15日	129.0	路肩崩壊	42.0	45,000	17,000	62,000
合 計						49,000	17,000	66,000

3 工程表(予定)

	令和6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年1月	2月	3月	4月	5月
①松崎町2号線	●災害発生				●災害査定予定							
						●本工事				●工期末		
						標準工期 100日						
					【補助】							
②西山12号線		●災害発生			●災害査定予定							
		●測量設計、応急工事										
		【単独】										
					●本工事(補償費含む)							●工期末
				【補助】	標準工期 225日							
				【単独】								

4 財源内訳

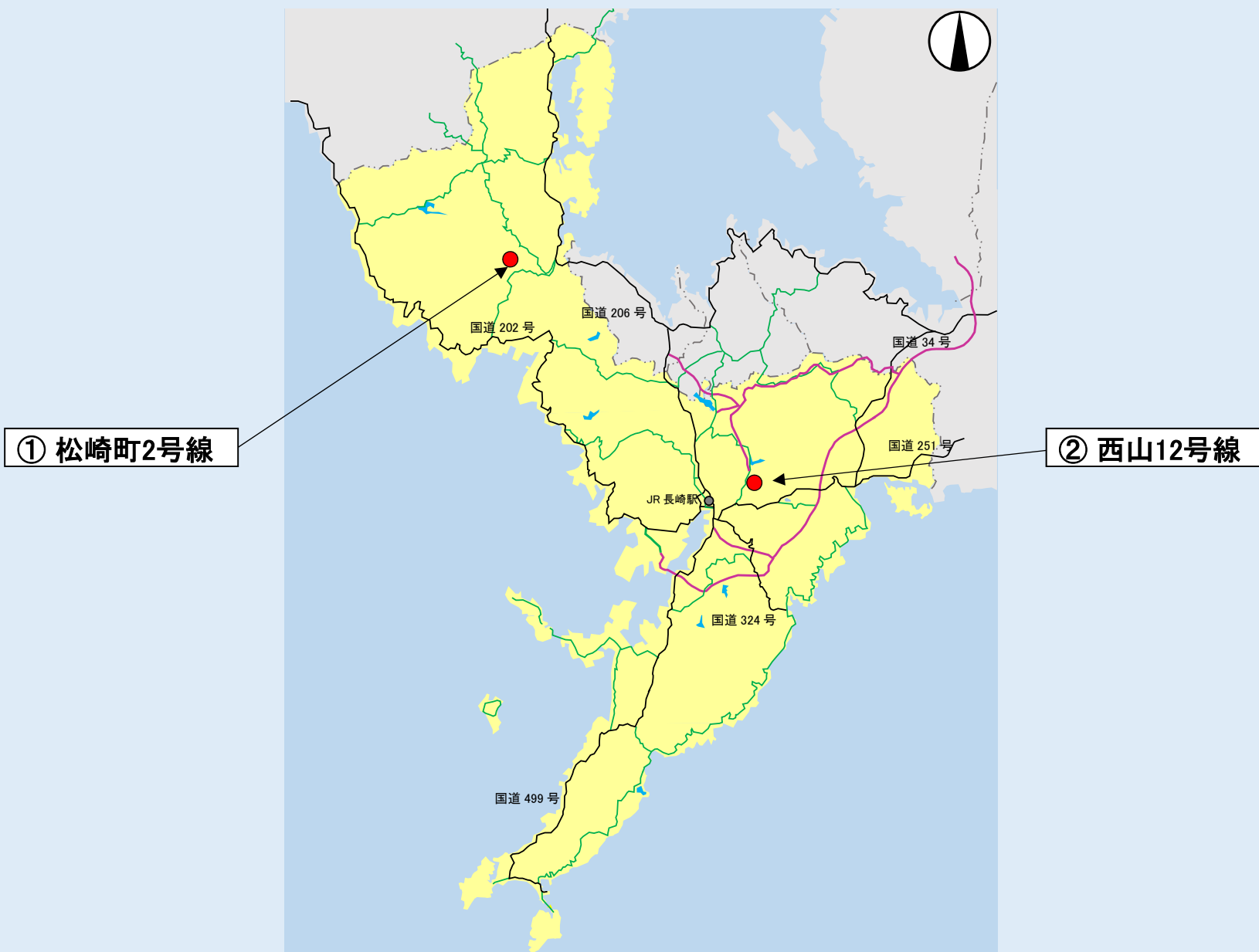
区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
補正前の額	千円 33,597	千円 22,409	千円 —	千円 11,100	千円 —	千円 88
9月補正額	千円 49,000	千円 32,683	千円 —	千円 16,300	千円 —	千円 17
補正後の額	千円 82,597	千円 55,092	千円 —	千円 27,400	千円 —	千円 105

※1 国庫負担率 2/3

※2 補助・直轄災害復旧事業債(現年) 起債充当率100%(交付税措置率95%)

5 位置図

【補助】道路災害復旧費 現年度災害分



6-1 平面図



6-2 平面図



予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
32～33	11 災害 復旧費	2 公共土木 施設災害 復旧費	1 道路橋りょう 河川等 災害復旧費	2-1	【単独】道路災害復旧費 現年度災害分	千円 17,000

1 事業概要

(1)事業目的

異常な天然現象(最大24時間雨量80mm以上の降雨)により被災した補助対象外となる部分の道路施設を復旧するもの。

(2)補正予算理由

令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した道路の災害復旧工事を実施するため、災害復旧費を増額補正するもの。

2 事業内容

路線名	場所	被災日	最大24時間 雨量(mm)	被災状況	延長 (m)	補助対象 事業費 (千円)	補助対象外 事業費 (千円)	総事業費 (千円)
西山12号線	西山2丁目	7月15日	129.0	路肩崩壊	42.0	45,000	17,000	62,000

3 工程表(予定)

	令和6年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年1月	2月	3月	4月	5月
西山12号線		●災害発生			●災害査定予定							
		●測量設計、応急工事 【単独】										
					●本工事（補償費含む）							●工期末
				【補助】 【単独】	標準工期 225日							

4 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
補正前の額	千円 16,403	千円 —	千円 —	千円 16,400	千円 —	千円 3
9月補正額	千円 17,000	千円 —	千円 —	千円 17,000	千円 —	千円 0
補正後の額	千円 33,403	千円 —	千円 —	千円 33,400	千円 —	千円 3

※ 一般単独災害復旧事業債 起債充当率100%(交付税措置率47.5～85.5%)

【単独】道路災害復旧費 現年度災害分



6 平面図



予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
40～41	11 災害 復旧費	2 公共土木 施設災害 復旧費	1 道路橋りょう 河川等 災害復旧費	【補助】道路災害復旧費 現年度災害分	45,000 千円

1 事業費及び財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
9月補正後 予算現額	千円 82,597	千円 55,092	千円 —	千円 27,400	千円 —	千円 105
支出予定額	37,597	25,077	—	12,500	—	20
繰越明許額	45,000	30,015	—	14,900	—	85

※1 国庫負担率 2/3

※2 補助・直轄災害復旧事業債(現年) 起債充当率100%(交付税措置率95%)

2 事業内容

・異常な天然現象(最大24時間雨量80mm以上の降雨)により被災した道路施設を、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき復旧するもの。

3 繰越概要

【工事(補償費含む)】

西山12号線 L=42m

4 繰越事由

令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した箇所の対策工事が年度内に完了しない見込みであるため。

繰越箇所の完了予定:令和7年5月

5 位置図



(繰越分)
工事: 西山12号線

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
40～41	11 災害 復旧費	2 公共土木 施設災害 復旧費	1 道路橋りょう 河川等 災害復旧費	【単独】道路災害復旧費 現年度災害分	10,000 千円

1 事業費及び財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
9月補正後 予算現額	千円 33,403	千円 —	千円 —	千円 33,400	千円 —	千円 3
支出予定額	23,403	—	—	23,400	—	3
繰越明許額	10,000	—	—	10,000	—	0

※ 一般単独災害復旧事業債 起債充当率100%(交付税措置率47.5～85.5%)

2 事業内容

・異常な天然現象(最大24時間雨量80mm以上の降雨)により被災した補助対象外となる部分の道路施設を復旧するもの。

3 繰越概要

【工事】西山12号線 L=42m

4 繰越事由

令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した箇所の対策工事が年度内に完了しない見込みであるため。

繰越箇所の完了予定:令和7年5月

5 位置図



(繰越分)
工事：西山12号線